



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年10月25日

上場会社名 日本高純度化学株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4973 URL <http://www.netjpc.com>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 清水 茂樹
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理部長兼 経営企画室長（氏名） 内田 薫（TEL）03-3550-1048
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月8日 配当支払開始予定日 平成24年11月26日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年3月期第2四半期の業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	5,103	△3.4	578	△17.5	601	△17.7	412	17.7
24年3月期第2四半期	5,284	△1.2	701	△9.0	730	△7.8	350	△25.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	6,858.64	6,858.56
24年3月期第2四半期	5,701.62	5,700.95

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	7,751	6,936	88.9
24年3月期	7,888	7,027	88.1

（参考）自己資本 25年3月期第2四半期 6,898百万円 24年3月期 6,948百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	4,000.00	—	4,000.00	8,000.00
25年3月期	—	4,000.00			
25年3月期（予想）			—	4,000.00	8,000.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	10,100	3.9	1,270	0.8	1,310	0.1	840	20.3
								13,950.94

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期2Q	63,158株	24年3月期	63,158株
25年3月期2Q	2,947株	24年3月期	2,947株
25年3月期2Q	60,211株	24年3月期2Q	61,533株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

・平成24年10月30日（火）・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する定性的情報	2
（2）財政状態に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
（1）四半期貸借対照表	5
（2）四半期損益計算書	7
（3）四半期キャッシュ・フロー計算書	8
（4）継続企業の前提に関する注記	9
（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における業績の概要は以下の通りであります。

当期の日本経済はユーロ危機が中国はじめアジア諸国に波及し、世界経済が減速し世界貿易が縮小に転じる中で、日本銀行の金融緩和政策にもかかわらず米欧の強力な量的緩和政策で超円高が続き、輸出が一段と減少しました。震災復興需要による景気下支えにもかかわらず、株価低迷による逆資産効果と国際商品価格高どまりによる交易条件悪化でデフレ脱却が遅れ、生産活動が停滞し、期後半には国内景気にも陰りが広がりました。

電子部品業界におきましては、こうした世界経済の減速の影響で、液晶テレビなどのデジタル家電向けは過剰在庫リスク回避から部品発注を抑制する傾向が強かったものの、スマートフォンやタブレット型PC向けの半導体や電子部品は好調に推移しました。

当社におきましては、一部のスマートフォンやタブレット型PCの好調な需要による高精細コネクタ向けの硬質金めっき薬品や半導体パッケージ基板、高密度マザーボード向けの無電解金めっき薬品の販売は堅調に推移しましたが、それ以外のパソコンやデジタル家電向けの金およびパラジウムめっき薬品の需要が低迷しました。

その結果、売上高は5,103,194千円（前年同四半期累計期間比3.4%減）、営業利益は578,707千円（前年同四半期累計期間比17.5%減）、経常利益は601,330千円（前年同四半期累計期間比17.7%減）、四半期純利益は412,966千円（前年同四半期累計期間比17.7%増）となりました。

なお、保有有価証券のうち時価が著しく下落したものについて投資有価証券評価損20,151千円を特別損失として計上しております。

売上高の用途品目別内訳は、プリント基板・半導体搭載基板用1,737,735千円、コネクタ・マイクロスイッチ用1,397,012千円、リードフレーム用1,267,167千円、その他701,279千円であります。

（2）財政状態に関する定性的情報

①資産・負債・純資産の増減

（資産）

流動資産は、前事業年度末に比べて72,775千円増加し、5,929,060千円となりました。これは主に、現金及び預金が105,021千円減少したものの、受取手形及び売掛金が130,423千円増加、たな卸資産が48,796千円増加したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べて209,983千円減少し、1,822,193千円となりました。これは主に、繰延税金資産の83,502千円増加及び本社増床に伴い有形固定資産が50,190千円増加したものの、投資有価証券が358,561千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べて137,207千円減少し、7,751,253千円となりました。

（負債）

流動負債は前事業年度末に比べて22,697千円減少し、567,799千円となりました。これは主に、未払法人税等が52,425千円増加したものの、買掛金が88,355千円減少したことによるものであります。

固定負債は前事業年度末に比べて23,336千円減少し、247,041千円となりました。これは主に、資産除去債務が13,936千円増加、役員退職慰労引当金が12,010千円増加したものの、繰延税金負債が49,282千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べて46,034千円減少し、814,840千円となりました。

（純資産）

純資産合計は前事業年度末に比べて91,173千円減少し、6,936,413千円となりました。これは主に、利益剰余金が172,122千円増加したものの、その他有価証券評価差額金が222,100千円減少、新株予約権が41,008千円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ105,021千円減少し3,168,614千円（前年同四半期は2,927,016千円）となりました。なお、当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下の通りであります。

（営業活動におけるキャッシュ・フロー）

税引前四半期純利益は627,415千円となりましたが、売上債権の増加による資金の減少130,423千円、仕入債務の減少による資金の減少88,355千円、法人税等の支払による減少178,112千円などにより、営業活動による資金の増加は196,446千円（前年同四半期は847,679千円の増加）となりました。

（投資活動におけるキャッシュ・フロー）

有形固定資産の取得による支出36,481千円、差入保証金の差入による支出13,012千円などにより、投資活動による資金の減少は60,624千円（前年同四半期は19,691千円の減少）となりました。

（財務活動におけるキャッシュ・フロー）

配当金の支払240,844千円により、財務活動による資金の減少は240,844千円（前年同四半期は246,132千円の減少）となりました。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,774,388	3,669,367
受取手形及び売掛金	1,770,829	1,901,253
商品及び製品	63,714	112,937
原材料及び貯蔵品	169,164	168,738
その他	78,186	76,763
流動資産合計	5,856,284	5,929,060
固定資産		
有形固定資産	49,031	99,221
無形固定資産	66,661	69,229
投資その他の資産		
投資有価証券	1,891,641	1,533,079
その他	24,842	120,662
投資その他の資産合計	1,916,483	1,653,742
固定資産合計	2,032,176	1,822,193
資産合計	7,888,460	7,751,253
負債の部		
流動負債		
買掛金	286,801	198,446
未払法人税等	182,917	235,342
賞与引当金	51,450	56,000
その他	69,327	78,010
流動負債合計	590,496	567,799
固定負債		
繰延税金負債	49,282	—
資産除去債務	24,025	37,961
役員退職慰労引当金	197,070	209,080
固定負債合計	270,377	247,041
負債合計	860,874	814,840

（単位：千円）

	前事業年度 (平成24年 3 月31日)	当第 2 四半期会計期間 (平成24年 9 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,281,575	1,281,575
資本剰余金	1,025,287	1,025,287
利益剰余金	5,087,726	5,259,848
自己株式	△704,329	△704,329
株主資本合計	6,690,259	6,862,381
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	258,268	36,168
繰延ヘッジ損益	186	—
評価・換算差額等合計	258,454	36,168
新株予約権	78,872	37,863
純資産合計	7,027,586	6,936,413
負債純資産合計	7,888,460	7,751,253

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	5,284,437	5,103,194
売上原価	4,092,793	4,025,704
売上総利益	1,191,644	1,077,489
販売費及び一般管理費	※ 490,309	※ 498,782
営業利益	701,335	578,707
営業外収益		
受取利息	308	335
受取配当金	24,215	19,236
有価証券利息	3,135	—
その他	1,859	3,735
営業外収益合計	29,518	23,307
営業外費用		
為替差損	211	438
支払手数料	—	245
営業外費用合計	211	684
経常利益	730,641	601,330
特別利益		
新株予約権戻入益	—	46,236
特別利益合計	—	46,236
特別損失		
投資有価証券評価損	149,978	20,151
固定資産除却損	126	0
特別損失合計	150,105	20,151
税引前四半期純利益	580,536	627,415
法人税、住民税及び事業税	230,925	230,786
法人税等調整額	△1,226	△16,336
法人税等合計	229,699	214,449
四半期純利益	350,837	412,966

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	580,536	627,415
減価償却費	19,256	14,418
投資有価証券評価損益（△は益）	149,978	20,151
新株予約権戻入益	—	△46,236
受取利息及び受取配当金	△27,658	△19,572
売上債権の増減額（△は増加）	365,300	△130,423
たな卸資産の増減額（△は増加）	36,047	△48,796
仕入債務の増減額（△は減少）	△43,075	△88,355
その他	24,348	28,550
小計	1,104,733	357,151
利息及び配当金の受取額	24,905	17,408
法人税等の支払額	△281,959	△178,112
営業活動によるキャッシュ・フロー	847,679	196,446
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△6,241	△6,241
有形固定資産の取得による支出	△5,375	△36,481
差入保証金の差入による支出	—	△13,012
その他	△8,074	△4,888
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,691	△60,624
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△246,132	△240,844
財務活動によるキャッシュ・フロー	△246,132	△240,844
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	581,856	△105,021
現金及び現金同等物の期首残高	2,345,159	3,273,636
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,927,016	3,168,614

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。